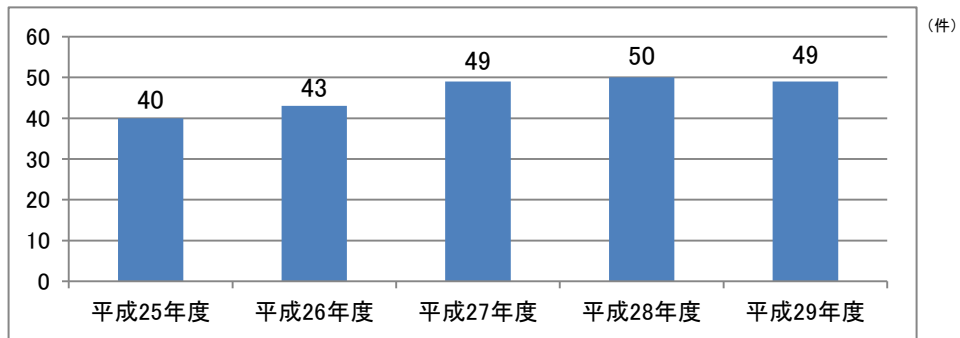


## 28 10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数

### ○項目の解説

クリニカルパス(クリティカルパス)とは、患者状態と診療行為の目標、及び評価・記録を含む標準診療計画のことです。クリニカルパスは医療の標準化を進め医療の質と効率の向上を目指すものです。すべての疾患にクリニカルパスが適用されるものではありませんが、発生頻度が高い疾患に定型的な診療部分があれば新たにクリニカルパスが開発・実施されることが多いようです。この項目は、その施設がどのくらい医療の標準化と医療の質の向上に取り組んでいるかを表現する指標です。

### ○当院の実績



### ○当院の自己点検評価

平成25年度から平成29年度の5年間において、クリニカルパスの本数が増加しており、適応となる患者数が増えていることから、10症例以上適応したクリニカルパスの本数も増加しているものと思われます。また、カルテの電子化が進み、各病棟においてクリニカルパスの見直しや新規のクリニカルパスも検討されており、今後、益々電子カルテと連動したクリニカルパスの進化が期待されます。

### ○定義

当該年度1年間に10例以上適用したクリニカルパス(クリティカルパス)の数です。

「10例以上」とは特異な事情(バリエーション)によるパスからの逸脱(ドロップアウト)を含み、当該年度内に適用された患者数とします。パスの数は1入院全体だけではなく、周術期等の一部分に適用するパスでも1件とします。

### ○算式

実数